

# 3R106 多軸空圧膝継手

## 調整方法と手順 - 医療従事者用資料 -

【3R106 多軸空圧膝継手とは】



空圧機構による遊脚相制御  
 リンク位置による高い安定性  
 大きな屈曲角度  
 30mm径チューブ

実長：215mm \*本体下縁～上部接続アダプターが被る間の長さ  
 体重制限：100kg  
 最大屈曲角：170°  
 重さ：760g

### 【調整箇所】

遊脚相の調整

	調整箇所	内容	工場出荷時の設定
	「F」バルブ	屈曲抵抗	最も開いた状態（最小値）から、右に2回転
	「E」バルブ	伸展抵抗	最小抵抗値

## 1) 遊脚相の調整：本体裏面にある『F』と『E』の調整ネジ



最初に屈曲抵抗の調節を行って下さい

- ① 過度に踵が跳ね上がり、歩行スピードに追従しない場合  
→ 『F』ネジを+方向に回す

- \* 空圧で制御しているため、多めに回すと違いが明確になり調整が容易です。
- \* ユーザーの普段の歩行スピードに合わせて最適な調整を行って下さい。

- ② ターミナルインパクトが出る場合  
→ 『E』ネジを+方向に回す。

- \* 急激に抵抗を高めると、膝折れの危険性があります。この際、ネジは少しずつ回します。
- \* 予めターミナルインパクトの防止機能は付属しています。ユーザーが気になる場合のみ調整を行って下さい。

## 2) 伸展補助バネの交換



膝の伸展が強すぎて屈曲しにくい場合や、膝の伸展が早すぎて(強すぎて)、違和感がある場合などに交換して下さい。

- ① 膝継手下部のカバーを5mmの六角レンチで回して、伸展補助バネを取り出します。

- \* 下部のキャップはプラスチック製のため、締める際にネジ山を破損しないよう注意して下さい。

- ② 付属の弱いバネと交換します。

- \* 転倒による怪我を防止するため、装着者がどんな状況でも膝継手を完全に伸展させてから踵接地できる場合にのみ、圧縮スプリングの交換が可能です。

- \* 訓練用義足として使用する場合は、安全のため強いバネの使用を推奨します。